

令和元年6月7日 基地周辺対策特別委員会 議事録
13時34分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 賀屋 幸治

委員 北地 範久、藤井 馨、山崎 年一、寺岡 公章、田中 実穂、
山本 孝三

議長 児玉 朋也

副議長 細川 雅子

○欠席委員 なし

○網谷委員長 定足数に達しておりますので、ただいまより基地周辺対策特別委員会を開会いたします。

開会に当たり、市長さん、御挨拶をお願いします。

○入山市長 基地周辺対策特別委員会開催、ありがとうございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○網谷委員長 ありがとうございます。

それでは、日程に従いまして進めさせていただきます。

日程1、執行部報告事項についてを議題といたします。

執行部のほうから報告をお願いいたします。

危機管理監。

○吉村総務課危機管理監 それでは、お手元にお配りしました基地周辺対策特別委員会の報告資料で御説明をさせていただきます。

まず、資料1から4までにつきましては定例で報告させていただいてる資料でございます。まず、資料1が阿多田島の漁協の職員に聞き取りで騒音調査を依頼しているもので、2月から4月にかけての騒音測定資料となっております。

資料2が、こちらが阿多田島漁協に設置しました防衛省の騒音測定器からデシベル値を抽出した月別資料となっております。これも2月から4月となっております。

資料3につきましては、中国四国防衛局のほうで岩国基地周辺の各所に設置しました騒音測定値から数値を示したもので、2月、3月と示しておりますが、4月から新たな様式になっておりまして、若干、形が変わっておりますが、内容は同じような形となっております。

続いて、資料4でございますが、これらの騒音状況の比較をするためにグラフ化した資料となっておりますので、御確認をお願いいたします。

最後に、資料5となります。こちらは、米軍岩国基地関連の航空機情報につきまして、前回の委員会以降の内容について御報告をさせていただきます。

まず、1番目、米空母艦載機の着艦訓練、これは、御承知のとおり報道等でもありまし

たようにFCLP空母の着艦訓練ですね。こちらを5月9日から5月19日の間に硫黄島で実施する旨通知がなされ、その通知のとおり実施が行われました。その後、空母着艦資格取得訓練(CQ)が5月23日から4日から6日程度の予定で行うと事前通知が入っております。実際のCQ訓練は5月23日より開始されまして5月27日に終了したとの報告を受けております。

2番目でございます。これらの訓練の通告を受けまして、防衛大臣宛てに大竹市から岩国基地訓練の空母艦載機の着艦訓練についての要請を行っております。これは既に、議員の皆様へ配付した内容でございますが、参考資料1として裏面に付けさせていただきます。

続きまして、3番目、F-35Bの事故についてでございますが、5月7日火曜日に岩国基地におきまして、駐留中のF-35Bがバードストライクにより滑走路上に停滞したという形で、駐機したままになったということで、空港の運用に支障が出たという報告が上がりました。民間空港の運用時間が約1時間半おくれたという報告を受けております。必要な部品交換のために機体への損害額、これらが200万ドルを超えるという見込みになったことから、クラスA事故という形で分類をされたという報告を受けました。

以上でございます。

○網谷委員長 ありがとうございます。

ただいま報告をいただきました点でよくわからない点がございましたら、質疑を求めます。質疑ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 ないようですので、以上で、日程1のほうは終了させていただきます。

それでは、日程2、その他についてを議題といたします。

そのほか何かございましたら受け付けますので、よろしくお願いします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは、ないようでございますので、以上で日程2についても終了させていただきます。

また、このたびの基地周辺対策特別委員会の中間報告でございますが、皆さん御承知と思いますが、6月定例会最終日に、私のほうから報告させていただきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

それでは、以上で全ての日程を終了しましたので、基地周辺対策特別委員会を終了させていただきます。皆さん、御苦労さまでした。

13時40分 閉会